



## 通信制高等学校について

### 通信制高等学校とは

通信制高校は入るのも卒業するのも全日制高校に比べると楽だというイメージがあります。確かに入試は全日制高校ほど難しいものではありませんし、出席日数も年に数回で大丈夫な学校もあります。しかし、卒業するには一定の条件を満たさなければなりません。それが次の3つです。



○通信制高校に限らず高校の卒業資格を得るには学校に3年間以上在籍することと、学校教育法で定められています。通信制高校でも同じで、早いペースで課題(レポート)を提出できたとしても、3年間は在籍する必要があります。逆に言えば急がずに時間をかけて計画的に課題に取り組んでいけば大丈夫ということになります。また、全日制高校では出席日数が足りない場合などは留年がありますが、通信制高校は単位を修得することが卒業要件になっています。そのため留年という概念がありません。例えば働きながら通信制高校で学んでいる人や子育てをしながら勉強する人、高齢者の人などもいます。そういった人の中には5年、10年かけて卒業する人もいます。それでも大丈夫なのが通信制高校の特徴です。なお、通信制高校に入る前に別の高校に在籍していた場合(通信制高校に編入や転入する場合)は前にいた高校の在籍期間を加算することができます。

○卒業の条件の2つ目は「74単位以上を修得すること」です。

単位とは科目ごとの学習量や学習時間のことです。例えば1週間に4時間の数学の授業を1年間受けると、数学の4単位をもらいます。しかし、通信制の場合、自宅学習が基本になりますので、実際に何時間学習したのかというのわかりません。そこで通信制では次の3つの条件を満たせば単位を取得ということになっています。



レポートを作成し提出 ほとんどの科目は1科目2~4単位で、レポートの提出数は教科や科目によって決められています。提出したレポートを先生が添削し、合格基準に達していない場合は再提出しなくてはなりません。

スクーリングに出席 通信制高校は自宅学習が基本ですが、年に数回はスクーリングに出席しなければなりません。この出席日数(スクーリングの回数)は高校によってまちまちです。年に3日だけでいいという学校もあれば、毎週1日という学校もあります。3~4日間の合宿を実施して集中してスクーリングを行うところもあります。スクーリングのシステムがどうなっているか、学校選びの際によく確かめておきましょう。

単位認定試験に合格レポートを提出しスクーリングを受けたら、単位認定試験を受けます。この試験は年に2回実施されます。その分、範囲は広くなりますが、普段のレポート提出や添削指導を受けていれば問題はありません。なお、学校によっては単位認定試験の回数が多いところがあります。

○特別活動を30単位時間特別活動というのは授業以外のホームルームや学校行事のことです。

入学式や清掃活動、映画鑑賞……など学校によって活動内容は異なりますが、30単位時間(1単位=50分)参加する必要があります。通信制の場合、宿泊を伴う集中スクーリングで特別活動も同時に行なうことがあります。さまざまな活動が設けられていますので、積極的に参加しましょう。